

介護、医療、子育て、まちづくり… 決算特別委で区民の声を届けました

10月6日に終了した区議会決算特別委員会（計8日間）
で横山幸次区議が行った質問などお知らせします。



質疑を行う横山幸次区議

介護保険 地域包括支援センターの 体制強化を…区も増員を検討

地域包括支援センターは、介護、福祉、健康、医療など高齢者福祉も含めた地域の総合窓口です。相談も当初の倍以上（下表）高齢者虐待など深刻な問題も増加。一人暮らし高齢者も増える中で安心ネットワークの要として体制、配置など機能強化を求めました。

地域包括支援センターの現状（人口は今年2月現在）

	高齢者人口	高齢化率	職員	相談件数推移(06年 09年)	設置場所
南千住	8,240	20.70%	7	5,075 9,136	サンハイム
荒川	7,031	23.60%	6	4,148 13,596	花の木ハイム
町屋	6,463	23.76%	7	2,881 8,797	さくら館
東尾久	6,063	24.03%	7	7,846 9,651	信愛のぞみの郷
西尾久	6,037	24.20%			
東日暮里	5,044	23.10%	6	3,064 6,568	西日暮里高齢者 通所サービスセンター
西日暮里	3,930	21.62%			
合計	42,808	22.89%	33	23,014 47,748	

人口は住民基本台帳による（外国人は含まず）

テレビ難民を生まないために… 区の支援とともに国に延期求めるべき

アナログテレビの画面は、上下に黒帯で「来年7月地デジ移行」のテロップが流れます。しかしデジタルテレビ移行は、負担も大きく低所得者など少なくない方が取り残されています。区の調査では、昨年10月で地デジ移行が5割以下、木造アパートで2割台です。このままでは、テレビ難民がでます。国は非課税世帯にチューナー無償支給を決めましたが、アンテナは別です。質問では、身近な区が独自相談窓口設置など支援強化を行うとともに、国に対していっそうの低所得者対策と条件が整うまでの地デジ完全移行延期を区として申し入れるよう求めました。



アナログテレビの上下に黒帯

まちづくり

大震災から住民の命・財産守れるまちへ 密集市街地整備をまちづくりの中心に

これまで荒川区のまちづくりは、「駅前拠点開発」中心でした。今後30年間にマグニチュード7クラスの首都直下地震発生確率は、70%。区内の17%に面積に約7万人、区内人口の3分の1が住む密集市街地整備事業予算は、駅前開発の2~3%（下表）にすぎません。質問では、こうした地域の改善をまちづくりの中心にするため、事業の抜本的な拡充を求めました。区も対応を約束しました。



区の駅前再開発費と密集市街地整備事業費

	駅前再開発関係	密集地域整備
2009年	27億9,900万円	7,500万円
2008年	33億1,000万円	7,000万円
2007年	32億5,400万円	7,400万円

駅前再開発 = 南千住、日暮里、三河島駅
密集市街地整備事業 = 町屋2・3・4、荒川1
2・4・7・5・6、南千住1の各丁目、尾久中央地区の175.2ヘクタール（区内の約17%）

《その他の質疑》

- 区有地の適正な管理
- 長周期地震動対策
- 国民健康保険料の値上げ問題
- 区内中小企業への融資
- 区民の文化活動支援…など質問しました。



裏面に相談案内を掲載

日本共産党荒川区議会議員

横山 幸次

区政報告 ニュース

2010年10月号外 発行 日本共産党区議団 区議団控室

TEL 3802-4627 FAX 3806-9246

E-mail: arajcp@tcn-catv.ne.jp

町屋相談室 荒川区町屋5-3-5 3895-0504



みなさんのご意見をお寄せ下さい!

安心して住み続けるためにまちづくりの課題は…

この枠内には、都営住宅、特養ホームなど高齢者施設、障害者施設、子育て施設も多く、隣接の尾久の原公園は震災時の広域避難場所です。バリアフリー推進が急がれます。

町屋7丁目の特別養護老人ホーム建設が待たれます。同時に公園の整備では、設計段階から地元区民の要望を取り入れたものにすべきです。

この通りに信号も必要です

重度障害者施設予定地

バリアフリーの促進を重点的にすすめてほしいですね

密集市街地整備促進地区(2,3,4丁目)

2, 3, 4丁目を安全な町にするためには、公的住宅の建設など抜本的な対策が必要です。同時に、耐震化も急がれます。

コミュニティバスがこんなコースを通るといいですね(この線は横山の勝手な案です)。町屋地域へのコミバス導入はみんなの願いです。



町屋駅前は、区内屈指の乗降客の多いところです。日常生活でも多くの人が行き交います。それにしては段差と放置自転車が多い駅前です。バリアフリー推進と京成高架下を使った自転車駐車場の整備が急がれます。

私たちの住む地域のまちづくりに関する課題、それもごく一部を書きました。ぜひみなさんのご意見をお寄せ下さい。これからはまちづくりの課題解決に向けて積極的に取り上げ解決のために力をつくします。(横山)

くらし、介護、医療、雇用など労働問題…まず声をかけて下さい。解決の第一歩です。

日本共産党区議団町屋地域生活相談センター(横山幸次区議事務所)

荒川区町屋5-3-5 TEL・FAX 3895-0504

横山幸次区議事務所



荒川区役所 TEL 03-3802-4627(直通)
E-Mail arajcp@tcn-catv.ne.jp

定例法律相談会

毎月 第1月曜
午後6時から8時

11月は1日(月)です
横山幸次区議事務所

なお、お急ぎの方は、ご相談下さい。他の法律相談などご紹介します。《生活相談は、随時受け付けています下記までご連絡ください。メールでも結構です。》
連絡先 TEL&FAX 3895-0504
(区役所控室 3802-4627)
(党地区事務所 3891-6682)

私たちは住民のくらしと命を守るネットワークをもっています…いつでもご相談を「定例法律相談」は月一回開催。くらし・子育て・雇用など労働問題、税金・医療・介護など、国会、都議会の共産党議員団や各分野の専門家とも連携し、解決をはかっています。